

化学物質等安全データ・シート (MSDS)

< 1. 製品及び会社情報 >

- ・製品名 : EAGLE 8 (イーグル エイト)
- ・会社名 : 株式会社 イーグル・ヴィジョン
- ・住所 : 東京都小平市天神町4-38-5
- ・電話番号 : 042-313-5615 FAX 番号 042-313-5616
- ・作成日 : 平成 25年11月1日

< 2. 組成、成分情報 >

単一製品・混合物の区別 : 混合

危険有害成分 : 有害成分は含有していない。(酸化マグネシウム等の無機物成分のみ)

< 3. 危険有害性の要約 >

- ・分類の名称 : 分類基準に該当しない。
- ・危険性 : なし
- ・有害性 : なし
- ・環境影響 : なし

< 4. 応急措置 >

■目に入った場合

- ・直ちに大量の水で15分以上洗う。コンタクトレンズを外し、まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・出来るだけ早く医師の診断を受ける。

■皮膚に付着した場合 :

- ・付着物を布などで素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。

■吸入した場合

- ・粉塵を大量に吸い込んだ場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し安静にする。
- ・必要に応じて、酸素または人工呼吸を供給する。直ちに医師の手当を受ける。

■飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
- ・嘔吐物は飲み込ませない。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせない。

< 5. 火災時の措置 >

- 異常な火災及び爆発の危険性：なし
- 特定の消火方法：なし

< 6. 漏出時の措置 >

- 作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- 少量の流出物を大量の水で洗い流し、下水をきれいにする。流出範囲を水で洗い流す。

< 7. 取扱い及び保管上の注意 >

■取扱い

- 換気の良い場所で取扱い、容器はその都度密栓する。

■保管

- 日光の直射を避ける。
- やや吸湿性があるため、乾燥した場所で保管し、吸湿及び固化を防ぐ必要がある。

< 8. 暴露防止及び保護措置 >

- 日常的使用からの暴露：日常暴露に起因する有害影響の証拠は認められていない。
- 過剰暴露による影響：高い粉塵濃度は、鼻、喉および気道の炎症を引き起こす可能性がある。既存の肺疾患に関連する呼吸器症状は、本物質の暴露により悪化する可能性がある。
- 設備対策：防塵マスクまたはフィルター付き呼吸用保護具の使用が推奨される。

■保護具

- 目の保護：取扱いには保護メガネまたはゴーグルを着用する。
- 皮膚の保護：取り扱い中および使用中は、ブチルゴム、ニトリルゴム、ラテックス、ポリ塩化ビニールまたは他の耐薬品性手袋が推奨される。
- 呼吸系の保護：開放的な場所での取り扱い中および標準的使用中は、防塵マスクまたはフィルター付き呼吸用保護具の使用が推奨される。広範囲に及ぶ密閉噴霧適用の場合または使用物質に特に敏感な個人の場合、フルフェイス送気マスクが必要となる可能性がある。
本製品の噴霧適用、乾燥フィルムの研磨またはサンドペーパーでの研磨を行う場合、または本製品の霧、噴霧、粉塵または煙からの暴露がある場合は常に防塵マスクを着用する。
- その他：必要に応じて皮膚への接触を防ぐ。

< 9. 物理的及び化学的性質 >

■外観

- 形状：粉末
- 色：灰色
- 臭い：無臭

■物理的状态

- 比重：2.1 g/cm³
- 溶解性：水に溶解する。

<10. 安定性及び反応性>

- ・可燃性 : なし
- ・避けるべき条件 : なし
- ・危険な重合反応 : 製品自体は重合しない。
- ・安定性 : 室温下での保存では安定性に問題はない。

<11. 有害性情報>

- ・急性毒性 : なし
- ・感作性 : なし
- ・がん原生 : なし
- ・変異原生 : なし
- ・生殖毒性 : なし
- ・催奇毒性 : なし
- ・その他 : 特別な有害性情報は報告されていない。
- ・1980年環境問題に対する対応、補償及び責任に関する包括法（スーパーファンド法）または現行の連邦規制40CFR、パート116（セクション311、清浄水質法）に定義されたとおり、本製品は有害物質ではない。

<12. 環境影響情報>

- ・漏洩時、廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
- ・特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。

<13. 廃棄上の注意>

- ・現行の連邦規制40CFR、パート261（RCRA）に定義されたとおり、本製品は有害廃棄物ではない。
- ・容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・廃棄・廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

<14. 輸送上の注意>

- ・共通 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
- ・容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
- ・陸上輸送 : 法規に該当しない。
- ・海上輸送 : 法規に該当しない。
- ・航空輸送 : 法規に該当しない。
- ・国連分類及び国連番号 : 該当しない

<15. 適用法令>

関係法規に該当しない。

<16. その他の情報>

■主な引用文献

- ・(社)日本塗料工業会編集「MSDS作成ガイドブック第4版」

～免責事項～

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しているが、情報の正確さ、安全性を保証するものではない。

当社はこの製品の取扱い・貯蔵・使用及び廃棄によって生じた損害に対する責任を負わない。